【所轄地区:武里地区】

武里地区公民館・武里東公民館

◇運営の基本方針

生涯学習の拠点施設の一つとして、「つどう」・「まなぶ」・「むすぶ」という公民館の原点に基づき、地域の連帯を深め、地域の発展や生活文化を高める事業に取組む。

◇重点施策

1　近隣の自治会と連携し、防災をテーマにした各種事業を実施する。
2　公民館利用者の学習成果の発表を通じて利用者相互の交流等を図る。
3　地区をあげたスポーツ・レクリエーションの祭典で、地区住民の健康と体力の向上及び相互の交流と親睦を深める。
4　小学生までを対象に、ものづくりやあそびを通して情緒と感性を養う場を提供する。

◇重点事業

1　武里地区公民館防災・防犯対策事業
2　武里市民センターまつり
3　武里地区体育祭
4　ふれあい教室

武里

武里地区公民館
所在地　〒344-0033　春日部市備後西一丁目１３番２号
　　武里市民センター内
ＴＥＬ　０４８－７３５－３００４
ＦＡＸ　０４８－７３７－３０３３
E-mail　takekou@city.kasukabe.lg.jp

武里東公民館
所在地　〒344-0032　春日部市備後東七丁目３８番１６号
ＴＥＬ・ＦＡＸ　０４８－７３５－２５２７
E-mail　taketonkou@city.kasukabe.lg.jp

職　員	館　長（兼務）	舟　田　由　彦	主　査（兼務）	小　川　裕　司
	主　任（兼務）	内　海　美智広	主　任（兼務）	鈴　木　健　司
	主　任（兼務）	金　澤　智　子	主　任（兼務）	宮　本　順　子
	主　任（兼務）	松　本　　直	フルタイム（兼務）	島　根　直　美
	フルタイム（兼務）	有　田　三奈子	フルタイム（兼務）	染　谷　道　代

武里地区　1

事業名 テーマ	武里地区公民館防災・防犯対策事業	対象	地域住民	定員	事業により異なる
ねらい	地域防災について、それぞれの自治会が抱える悩みや課題の解消をめざして、実践を通じて、各自治会において応用できる内容で実践する。自治会と公民館の連携のみならず、自治会の横の連携も強固なものにし、情報を共有しながら、武里地区全体で継続して取り組んでいくことをめざす。				
協力機関及び団体	武里公隣防災対策連絡協議会（備後同友自治会、備後朝日ヶ丘自治会、備後須賀第四自治会）	特色位置づけ	重点事業	SDGsの目標No	4・11・13・17
会場	武里地区公民館	教材資料等	プログラムにより異なる		
実施までの経過	4月5日(土)　会計監査 4月19日(土)　代表者会議・企画運営委員合同会議 6月14日(土)　企画運営委員会 7月5日(土)　防災訓練振り返り会議 7月12日(土)　ぼうさい小町武里会議 10月18日(土)代表者会議・企画運営委員合同会議 2月7日(土)　代表者会議・企画運営委員合同会議	ＰＲ方法	ポスター・チラシ,広報「ぼうさい」、公民館だより		
		受付方法	その都度、異なる		

月日（曜） 回数	時間 総時間数	内容	方法	参加者 男計	参加者 女計	参加者 合計	講師・助言者の職名 氏名
6月29日(日)	9:00～12:00	防災訓練	訓練	82	51	133	危機管理防災課、消防本部警防課
8月9日(土)	10:00～12:00	こども向け企画	実習	15	17	32	
3月15日(日)	10:00～12:00	防災をかんがえる日	実習	21	25	46	
不定期		広報「ぼうさい」発行					3自治会全戸配布
3回	7時間			118	93	211	

企画運営上の工夫	・こどもの参加が少ないため、今年度はぼうさい小町武里会員による「こども向け企画」を開催した。 ・防災訓練においては例年８月開催だったが、「暑いので時期をずらしてほしい」との声があり、６月に開催した。また３自治会のみでなく備後須賀連合との合同開催を初めて実施した。
成果参加者の声など	・防災訓練で今回は多くの参加者がいたことから、「AED体験の時間が少なかった」等の声が寄せられた。
課題と展望	・訓練の時間配分について見直しが必要である。また、「防災をかんがえる日」に、こども対象のイベントを開催したが３名しか参加者がいなかったため、情報発信の方法を工夫したい。

事業名 テーマ	子育てサロン	対象	0歳児～5歳児 その保護者	定員	なし
ねらい	親子で気軽に立ち寄り、育児の不安・悩みなど、子育てについての情報交換や参加者相互の交流を図る。また、専門的な知識・経験を持つ主任児童委員や保育士等への相談の場を設けることで、育児における様々な不安を解消し、安心して子育てができる環境を整える。				
協力機関及び団体	春日部市民生委員・児童委員協議会 主任児童委員連絡会、こども相談課、福祉総務課	特色位置づけ	子育て支援事業	SDGsの目標No	3
会場	武里地区公民館　研修室1、研修室2、教養室1、教養室2	教材資料等			
実施までの経過	1月　各課に共催打診 4月1日(火)　公民館だより4月号以降、各号にて告知	PR方法	公民館だより各号 安心安全メール		
		受付方法	当日受付		

月日(曜)	時間	内容	方法	参加者 男	参加者 女	参加者 合計	講師・助言者の職名 氏名
回数	総時間数			計	計		
4月1日(火)	10:00～11:30	簡単な遊び、交流、相談	交流実習	4	16	20	
5月13日(火)	10:00～11:30			3	13	16	
6月3日(火)	10:00～11:30			3	15	18	
7月1日(火)	10:00～11:30			5	37	42	
8月5日(火)	10:00～11:30			5	29	34	
9月2日(火)	10:00～11:30			6	19	25	
10月7日(火)	10:00～11:30			6	23	29	
11月11日(火)	10:00～11:30			6	26	32	
12月2日(火)	10:00～11:30			3	33	36	
1月20日(火)	10:00～11:30			7	31	38	
2月3日(火)	10:00～11:30			7	29	36	
3月3日(火)	10:00～11:30			8	30	38	
12回	18時間			63	301	364	

企画運営上の工夫	・対象に乳幼児が含まれるため、授乳用の部屋を確保した。 ・気軽に参加ができるよう、申込不要とした。 ・当日の準備や運営等にも関わりながらこども相談課・福祉総務課と連携を図り、子育てサロンをきっかけとした様々な事業の新しい展開を模索した。
成果 参加者の声など	・育児で不安をもっていても自主的に相談をすることが難しい保護者も多いが、自由あそびの時間などに助産師や主任児童委員、参加者同士で世間話をすることで自然に悩みを相談する様子がみられた。 ・保育士による手遊びにこどもたちも楽しそうに参加していた。
課題と展望	・保護者同士、こども同士の交流の場となっている。気軽に話せる雰囲気づくりを今後も行うことで、保護者同士、助産師や主任児童委員と交流をより図れるようにしたい。また、育休中のパパの参加もあり、家族での参加やパパとこどものみの参加もしやすい環境づくりや広報を行っていきたい。

武里地区　３

事　業　名 テ　ー　マ	家庭教育研修会 楽しいクッキング	対　象	小学生とその保護者	定員	１０組 (20名)
ね　ら　い	親子で一緒に料理する体験を通じて、家庭教育のあり方について考えるとともに、家庭の役割について認識を深める。				
協力機関 及び団体	春日部市食生活改善推進員協議会武里地区	特　色 位置づけ		SDGsの目標No	4
会　場	武里市民センター　2階実習室	教　材 資料等	レシピ配布		
実施までの経過	1月16日　依頼／打合せ 2月 1日　公民館だより掲載 2月 1日　安心安全メール配信 2月14日　申込み開始	ＰＲ方法	公民館だより 安心安全メール		
		受付方法	武里地区公民館に直接または電話で		

月日（曜） 回　数	時　間 総時間数	内　　容	方法	参加者 男計	参加者 女計	参加者 合計	講師・助言者の職名 氏　　名
3月8日(日)	10:00～13:00	親子料理教室	実習	8	9	17	春日部市食生活改善推進員協議会武里地区
1回	3時間00分			8	9	17	

企画運営上の工夫	親子で参加できるように日曜日に開催することにした。こども達が積極的に料理に参加でき、体験したことを家庭でも実践できるメニューを講師に考案してもらい実施した。
成　　果 参加者の声など	参加した保護者からは「本格的に一からこども達と料理を作ることが出来、とてもよかった」「家ではこども達に料理の手伝いをお願いするのも大人一人こども二人だと目が届かないけれど、公民館だと大人の目が届くので、安心してこども達に任せることができました」「家族で料理に取り組み、それぞれの役割を確認しながら進められたので非常に有意義でした」の声をいただき、好評であった。参加したこども達からは「大根おろしにするのがとても難しくて大変でした」「肉を茶色くするために混ぜるのが大変だった」など、積極的に参加したことが分かるようなコメントがあった。明るく和やかな雰囲気の中、親子のふれあいを楽しんで頂けた。
課題と展望	今後も親子、こども同士、保護者同士の交流の場として有意義で貴重な時間を過ごせるように参加者が楽しめる事業を企画していく。地域で活動する人材を発掘し講師として依頼できる関係性を構築していきたい。

事業名 テーマ	ふれあい教室　”MOJI JAZZ LIVE for babies”	対象	未就学児 その保護者	定員	10組
ねらい	ものづくりやあそびなどを通して情緒と感性を養う場を提供する。				
協力機関及び団体	MOJI JAZZ	特色位置づけ	重点事業	SDGsの目標No	4
会場	武里地区公民館　音楽室、和室、教養室1、教養室2	教材資料等	プログラム（原稿MOJI　JAZZ） マラカス（MOJI JAZZ提供） カスタネット		
実施までの経過	3月4日（火）・3月7日（金）・5月17日（土）打合せ 7月10日（木）　申し込み開始 7月26日（土）打合せ 8月2日（土）　第1回実施 9月6日（土）　打合せ 11月7日（金）　申し込み開始 11月29日（土）第2回実施 11月29日（土）打合せ 1月6日（火）　申し込み開始 1月31日（土）第3回実施	PR方法	公民館だより7・11・1月号 ポスター・チラシ 安心安全メール		
		受付方法	武里地区公民館に直接または電話で		

月日（曜） 回数	時間 総時間数	内容	方法	参加者 男 計	参加者 女 計	参加者 合計	講師・助言者の職名 氏名
8月2日（土）	10:30～11:30	ライブ形式（一緒に演奏可）	参加型	8	10	18	MOJI JAZZ （代表：岩沢　郁美）
11月29日（土）	10:30～11:30			8	4	12	
1月31日（土）	10:30～11:30			7	9	16	
3回	3時間			23	23	46	

企画運営上の工夫	・部屋の換気や楽器の消毒など行い、衛生管理に努め安心して参加できる環境づくりをした。 ・乳児が含まれるため、授乳用の部屋を確保した。 ・主な対象者を乳幼児とし、日常生活とは違う側面からの育児への取り組みとした。 ・講師陣の即興演奏をいかし、こども達にカスタネットやマラカスで参加してもらい、音楽の楽しさを体感できるよう工夫した。
成果 参加者の声など	・初の試みとなるこどもが自由に参加できる演奏会にしたことで、親子の絆が深まり、情緒と感性を養うことができた。 ・「こどもと楽しく参加することができた。ステキな演奏をありがとうございました。」「すごくすてきでした。また来ます。」「親子でジャズを聞く機会を与えてくださりありがとうございました。演奏に癒やされました。」「近い距離で楽器演奏を楽しめてよい経験になりました。こどもがぐずってしまっても温かく対応してくださりありがとうございました。」「こどもも楽しくすごせていました。」等の声が寄せられた。
課題と展望	・マンネリ化を避けるため新しい楽曲を検討していきたい。

武里地区　５

事業名 テーマ	ふれあい教室 目指せ！星博士	対象	中学生以下とその保護者	定員	20人
ねらい	子どもたちを対象に、自然に触れ合う機会を増やすことで、心の成長を図る。また、参加者間での交流を図ることも目的とする。				
協力機関及び団体	草加天文愛好会（スペースワンダー）	特色位置づけ	重点事業	SDGsの目標No	4
会場	武里地区公民館　研修室1及び屋上	教材資料等	講師作成資料 星座早見盤		
実施までの経過	1月下旬　講師打合せ 1月下旬　講師依頼 4月1日　公民館だより4月号掲載 5月14日　安心安全メール配信	PR方法	公民館だより「武里」4月号 安心安全メール		
		受付方法	4月26日（土）8時30分から先着順に、武里地区公民館で直接または電話で受け付ける		

月日（曜） 回数	時間 総時間数	内容	方法	参加者 男計	参加者 女計	参加者 合計	講師・助言者の職名 氏名
5月25日（日）	18:30～20:30	オリエンテーション ・初夏の星座と火星 ・星座早見盤作り	講義及び観望	8	16	24	草加天文愛好会 （スペースワンダー） 三田　明
8月2日（土）	18:30～20:30	・ペルセウス座流星群 ・月と夏の星雲		7	6	13	
12月6日（土）	18:00～20:00	・環のない土星 ・ふたご座流星群		6	11	17	
3回	6時間			21	33	54	

企画運営上の工夫	・屋上の立入可能区域をバリケードを作ることで明示し、安全確保に努めた。 ・夜間の実施となるため、保護者同伴または保護者が送迎可能な方を対象とした。 ・天候不良の場合、映像等を使い座学を開催できるようにした。
成果 参加者の声など	・親子での観望を通じて自然との触れ合いや親子間の絆を育むことができた。 ・星座や惑星の知識が増えた、望遠鏡を通して星空を観察できたことが嬉しかったなどの声が寄せられた。
課題と展望	・天候に左右される事業となるため、座学についてもさらに講師と参加者との質疑応答が活発となるような手法を考え、参加者の満足度を高められるよう講師と協議していく。 ・複数日開催での参加募集ではなく、単日開催での参加募集も検討していきたい。

事業名 テーマ	武里小学校放課後子ども教室 わかたけっこひろば	対象	武里小学校児童	定員	コーナーによる
ねらい	公民館近隣の小学校である武里小学校の児童を対象に、放課後あるいは土曜日のこどもの居場所作り、体験の場を提供するものとして市内で唯一公民館と学校が共催で事業を実施する。平日は小学校の空き教室やグラウンドを使って、土曜日は公民館にて、学校ではできないことを体験する場として、地域の方や公民館利用サークルを講師に迎え事業を実施する。				
協力機関及び団体	共催：武里小学校放課後子ども教室「わかたけっこひろば」実行委員会	特色位置づけ		SDGsの目標No	11
会場	武里地区公民館 講堂、会議室1、会議室2、会議室3、実習室、グラウンド	教材資料等	プログラムにより異なる		
実施までの経過	4月14日（月）　実行委員会	PR方法	チラシを武里小学校全児童に配布		
		受付方法	武里小学校で期日指定で申し込み。 参加費は、各講座で異なる。		

月日（曜） 回数	時間 総時間数	内容	方法	参加者 男計	参加者 女計	参加者 合計	講師・助言者の職名氏名
6月7日(土)	9:30～11:30	どようひろば	実習	19	28	47	どようひろばサポーター
7月12日(土)	9:30～11:30	ドッチビー	実習	17	29	46	地域ボランティア
8月23日(水)	9:30～11:30	夏休み特別イベント	実習	19	29	48	一般財団法人日本鯨類研究所
9月13日(土)	9:30～11:30	工作　手芸	実習	14	23	37	地域ボランティア
10月11日(土)	9:30～11:30	料理	実習	20	22	42	地域ボランティア
11月15日(土)	9:30～11:30	外遊び	実習	9	11	20	公民館利用サークル
12月13日(土)	9:30～11:30	そば打ちと楽しいおもちゃ作り	実習	10	22	32	地域ボランティア
1月10日(土)	9:30～11:30	工作　手芸	実習	16	25	41	地域ボランティア
2月7日(土)	9:30～11:30	料理	実習	13	23	36	地域ボランティア
3月7日(土)	9:30～11:30	外遊び	実習	38	21	59	地域ボランティア
10回	20時間			175	233	408	

企画運営上の工夫	参加者が安心安全に過ごせるよう、心地よい環境整備を心掛けた。
成果 参加者の声など	本事業に参加したことで、日頃、交流のない世代との交流が出来たと好評だった。
課題と展望	学校、地域、公民館が連携、協力しながら、こどもたちの安全、安心な居場所を提供し、様々な体験と地域との交流が深められる場となるように目指していきたい。

武里地区 7

事業名 テーマ	たけさとカフェ	対象	一般	定員	20～30名
ねらい	毎月1回、気軽な雰囲気の中で1つのテーマについて学ぶ場を作る。また、市民主体の取り組みにするため、公募による企画運営委員に、事業内容の企画及び当日の運営への協力を依頼し実施する。				
協力機関及び団体	各講師の所属する機関・団体	特色位置づけ		SDGsの目標No	4・11・17
会場	武里地区公民館 研修室1又は講堂	教材資料等	プログラムにより異なる		
実施までの経過	前年度の企画運営委員会において、プログラム内容を検討 実施前月発行の公民館だよりで広報	PR方法	公民館だより		
		受付方法	武里地区公民館で直接または電話により先着順に受付		

月日(曜) 回数	時間 総時間数	内容	方法	参加者 男計	参加者 女計	参加者 合計	講師・助言者の職名氏名
4月18日(金)	14:00～16:00	フレイル予防で健康生活！	実演	2	23	25	全国老人クラブ連合会認定健康づくり推進員 田中道子
5月16日(金)	14:00～16:00	フレイル予防で健康生活！パート2	実演	1	27	28	全国老人クラブ連合会認定健康づくり推進員 田中道子
6月20日(金)	14:00～16:00	地域包括支援センターについて	講義	6	18	24	第4地域包括支援センター
7月18日(金)	14:00～16:00	命を守る"水"見直そう！水分補給	講義	3	20	23	株式会社 明治
8月15日(金)	14:00～16:00	豊かな老後のために知っておきたいお金の話	講義	4	23	27	金融経済教育推進機構(J-FLEC)
9月19日(金)	14:00～16:00	暮らしの中の危険と損害保険	講義	5	21	26	日本損害保険協会
10月17日(金)	14:00～16:00	「ベルクの食育」～高齢期の食事、運動について～	講義 実演	2	27	29	株式会社 ベルク
11月21日(金)	14:00～16:00	お酒ほどほどマスター講座	講義	2	13	15	サントリーホールディングス株式会社
12月19日(金)	14:00～16:00	スマートドリンク～飲む人も飲まない人も～	講義	2	14	16	アサヒユウアス株式会社 One Asahiユニット
1月16日(金)	14:00～16:00	FREE DAM LIFE～しゅんぺい先生の健口カラオケセッション～	講義	1	24	25	株式会社埼玉第一興商
2月19日(木)	14:00～16:00	化粧療法 いきいきセミナー	講義	0	16	16	資生堂ジャパン株式会社
3月19日(木)	14:00～16:00	骨・カルシウムセミナー	講義	4	23	27	雪印メグミルク株式会社
12回	24時間			32	249	281	

企画運営上の工夫	・毎年、好評な講座内容を盛り込み、参加者の満足度を高めるようにした。 ・新しい発見ができる講座内容も取り入れた。
成果 参加者の声など	新たに取り入れたカラオケ講座などの講座が想像以上に反響が大きく手応えのあるものとなった。「またすぐにでもカラオケ講座を実施してほしい」や「先生とお話ができてよかった」など参加者からは、喜びの声を多くいただけた。
課題と展望	今まで実施したことのない新しい分野のテーマや若い世代が参加できるような事業を展開できないか調査・研究をしていきたい。

事業名 テーマ	オレンジカフェ「アサンテたけさと」	対象	認知症の方、その家族の方、また認知症に関心がある方	定員	なし
ねらい	地域にお住まいの認知症の方やその家族の方、また認知症に関心がある方など、どなたでも気軽に参加できる”つどいの場”として開設する。当日の運営主体となる春日部市第4地域包括支援センターの特徴を発揮できるように支援し、また、ボランティアスタッフの協力も得ながら開催する。				
協力機関及び団体	共催：第4地域包括支援センター	特色位置づけ	ボランティアスタッフの協力で運営	SDGsの目標No	4・11
会場	武里地区公民館　3階研修室1	教材資料等	プログラムにより異なる		
実施までの経過	実施前月及び当月の公民館だよりに掲載	PR方法	広報かすかべ 公民館だより		
		受付方法	申込み不要、直接会場へ		

月日(曜) 回数	時間 総時間数	内容	方法	参加者 男計	参加者 女計	参加者 合計	講師・助言者の職名氏名
4月19日(土)	10:00～11:30	脳トレパズル、 作品作り、簡単な体操 など	実習	1	31	32	第4地域包括支援センター
5月17日(土)	10:00～11:30		実習	1	26	27	
6月21日(土)	10:00～11:30		実習	2	32	34	
7月19日(土)	10:00～11:30		実習	11	47	58	
8月16日(土)	10:00～11:30		実習	7	41	48	
9月20日(土)	10:00～11:30		実習	7	23	30	
10月18日(土)	10:00～11:30		実習	4	32	36	
11月15日(土)	10:00～11:30		実習	4	32	36	
12月20日(土)	10:00～11:30		実習	6	44	50	
1月17日(土)	10:00～11:30		実習	5	24	29	
2月21日(土)	10:00～11:30		実習	4	30	34	
3月14日(土)	10:00～11:30		実習	8	47	55	
12回	18時間			60	409	469	

企画運営上の工夫	・毎回参加される方が多数いらっしゃるので製作するものを毎回変えたり、新しいプログラムを取り入れたりする等の工夫をした。
成果 参加者の声など	・「今日は何の日？」や「懐かしい歌を歌う」での参加者の懐かしそうな顔をはじめ、楽しそうに過ごしている様子が印象的だった。また認知症のご家族と一緒に参加された方やお孫さんの参加もあった。地域の見守りにもつながっていた。
課題と展望	・現在オレンジカフェは第4地域包括支援センターと多くのボランティアスタッフの協力のもとで運営されているが、今後も地域の方々に認知症についての理解を深めてもらい、協力してもらえるように努めていきたい。

武里地区　9

事業名 テーマ	オレンジカフェ【武里東】	対象	認知症の方やご家族の方	定員	30人
ねらい	地域にお住まいの認知症の方やそのご家族、認知予防に関心のある方などが、気軽に活動できる集い・交流の場をつくり、認知症についての情報交換・学習・研修などを実施し、地域における認知症への理解を深める。また、地域住民ボランティアの運営スタッフによる、地域に根付いた見守り活動につなげていく。				
協力機関及び団体	共催：第5地域包括支援センター	特色位置づけ	ボランティアスタッフの協力で運営	SDGsの目標No	4・11
会場	武里東公民館　大会議室	教材資料等	プログラムにより異なる		
実施までの経過	実施前月及び当月の公民館だよりで募集	ＰＲ方法	公民館だより ポスター・チラシ		
		受付方法	電話で先着順に、第５地域包括支援センターで受け付け		

月日（曜） 回数	時間 総時間数	内容	方法	参加者 男計	参加者 女計	参加者 合計	講師・助言者の職名氏名
4月12日(土)	13:30～15:30	工作･体操･相談	実習	3	31	34	第5地域包括支援センター
5月10日(土)	13:30～15:30		実習	2	24	26	
6月14日(土)	13:30～15:30		実習	2	21	23	
7月12日(土)	13:30～15:30		実習	0	31	31	
8月9日(土)	13:30～15:30		実習	2	21	23	
9月13日(土)	13:30～15:30		実習	2	26	28	
10月11日(土)	13:30～15:30		実習	2	18	20	
11月8日(土)	13:30～15:30		実習	3	17	20	
12月13日(土)	13:30～15:30		実習	1	23	24	
1月10日(土)	13:30～15:30		実習	4	17	21	
2月14日(土)	13:30～15:30		実習	2	18	20	
11回	22時間00分			23	247	270	

企画運営上の工夫	・工作や体操を取り入れ参加しやすい雰囲気づくりに努めた。また、孤立してしまう方が出ないよう、スタッフで目を配り声掛けをした。
成果 参加者の声など	・参加者同士も顔見知りになり、打ち解けていた。工作の時など、助け合いながら、制作している姿も見受けられた。毎回のオレンジカフェを、とても楽しみにしているとの声もあった。
課題と展望	・音楽鑑賞を積極的に取り入れたり、参加者も歌えるようにするともっと楽しみが広がってくるものと考えている。

事業名 テーマ	教養講座 えんJOYトレーニング	対象	一般	定員	60名
ねらい	健康意識を高めることで、春日部市における健康寿命の延伸を図る。最初は軽い重りから始め、筋力がついてきたら少しずつ重りを増やしていくことで効果的な筋力向上を図りひいては健康意識の向上、健康寿命の延伸を図る。また、定期的に体力測定を実施して体操の効果を確認する。				
協力機関及び団体	第4地域包括支援センター 介護保険課	特色位置づけ		SDGsの目標No	3・4・11
会場	武里地区公民館　講堂	教材資料等	えんJOYトレーニングハンドブック		
実施までの経過	前年度より継続	ＰＲ方法	令和5年度からの継続事業であり、新規受け入れ枠が少ないため、新規募集の予定は無し		
		受付方法	欠員時に申込を受付		

月日（曜） 回数	時間 総時間数	内容	方法	参加者 男計	参加者 女計	参加者 合計	講師・助言者の職名氏名
4月1･8･15･22･29日	10:00～11:30	えんJOYトレーニング 毎週火曜日実施	実習	1	181	182	第4地域包括支援センター 介護保健課地域支援担当
5月6･13･20･27日	10:00～11:30			1	149	150	
6月3･10･17･24日	10:00～11:30			1	133	134	
7月1･8･15･29日	10:00～11:30			1	140	141	
8月5･19･26日	10:00～11:30			1	117	118	
9月2･9･23･30日	10:00～11:30			1	140	141	
10月7･21･28日	10:00～11:30			1	113	114	
11月11･18日	10:00～11:30			1	75	76	
12月2･9･16･23日	10:00～11:30			1	148	149	
1月6･20･27日	10:00～11:30			1	116	117	
2月3･10･17日	10:00～11:30			1	123	124	
3月3･10･17･24･31	10:00～11:30			1	171	172	
44回	66時間			12	1606	1618	

企画運営上の工夫	カスタネットでカウントをとったり、椅子に座った方も体操ができるよう工夫した。
成果 参加者の声など	体を動かす機会となってダンスが楽しいといった毎回の参加を楽しみにする声があった。
課題と展望	参加希望者が多くなる一方、サポーターの数が少ないため、負担が多くなってしまう。 サポーターの数を増やし、別の日程でも開催できるようにしていきたい。

武里地区　11

事業名 テーマ	教養講座 パソコンの操作を学ぼう！	対象	一般	定員	各回 5名
ねらい	パソコン初心者を対象に、日常生活に役立つ「ワード」や「エクセル」の基礎的な知識や技術を学ぶ機会として実施する。また、地域の方々が、教え合い、学び合う学習活動を通じて、交流を図る機会とする。				
協力機関及び団体	市民ボランティア	特色位置づけ	市民ボランティアの協力により運営	SDGsの目標No	4・11・17
会場	武里地区公民館 研修室３	教材資料等			
実施までの経過	毎月公民館だよりで広報	ＰＲ方法	公民館だより		
		受付方法	武里地区公民館で直接または電話により先着順に受付		

月日（曜） 回数	時間 総時間数	内容	方法	参加者 男計	参加者 女計	参加者 合計	講師・助言者の職名 氏名
5月24日(土)	13:30～16:30	参加者の疑問・課題解決	実習	1	0	1	各回ともに市民ボランティア
6月28日(土)	13:30～16:30			1	0	1	
7月19日(土)	13:30～16:30			2	0	2	
8月30日(土)	13:30～16:30			2	2	4	
9月27日(土)	13:30～16:30			0	1	1	
10月19日(土)	13:30～16:30			2	2	4	
11月22日(土)	13:30～16:00			2	0	2	
12月20日(土)	13:30～16:00			1	0	1	
1月24日(土)	13:30～16:00			1	0	1	
2月28日(土)	13:30～16:00			0	2	2	
3月28日(土)	13:30～16:00			0	1	1	
11回	30時間30分			12	8	20	

企画運営上の工夫	・参加者とボランティアスタッフとの講座内容を通じて交流や学びが多くある事業とした。 ・課題解決を集中してできるように2時間30分若しくは3時間で開催した。
成果 参加者の声など	・「不明な点をわかりやすく説明していただき助かりました。」や「楽しく教えていただき、ありがたい教室でした。」などの声が寄せられた。
課題と展望	・パソコン初心者なので学びたいとの声はあるが、極めて少数になっている。代わりにスマートフォンの操作を学びたいという声が増えている。 ・ボランティアスタッフが諸事情で辞退者があるとともに、参加者の要望がネットワーク関連など多岐になり、対応が困難になってきている。 ・このような状況を検討した結果、平成16年度から続いたボランティアスタッフによる講習は今年度で終了することとする。

事業名 テーマ	教養講座 ①春の散策 ②秋の散策	対象	成人一般	定員	①15人 ②15人
ねらい	生涯学習市民推進員と協力して、近隣住民につどう、まなぶ、むすぶ機会を提供する。				
協力機関及び団体	・武里大枝公民館 ・生涯学習市民推進員 （武里地区・武里南地区）	特色位置づけ	生涯学習市民推進員との共同計画及び武里大枝公民館との共催	SDGsの目標No	4・11
会場	①北春日部駅東口から小渕周辺、古利根公園橋 ②ヤクルト本社茨城工場、道の駅ごか、春日部市美術展覧会	教材資料等	散策のしおり		
実施までの経過	① 3月 5日（火）武里地区打合せ 3月13日（水）合同打ち合わせ 4月10日（水）コース下見 5月 1日（水）公民館だより5月号 5月11日（金）申込受付開始 ② 7月30日（水）打合せ 9月18日（木）コース下見 11月 1日（土）公民館だより11月号 11月11日（火）募集開始	ＰＲ方法	①公民館だより5月号 ②公民館だより11月号		
		受付方法	①5月11日（土）～ ②11月11日（火）・12日（水） 午前9時から、武里地区公民館と武里大枝公民館で直接または電話により受付。①は先着順、②は抽選		

月日（曜） 回数	時間 総時間数	内容	方法	参加者 男計	参加者 女計	参加者 合計	講師・助言者の職名 氏名
5月23日(金)	9:30～11:30	①北春日部駅東口（出発）→小淵山観音院→八坂神社、仲蔵院→ビッグアート→古利根公園橋（解散）	見学	6	12	18	生涯学習市民推進員
11月22日(土)	9:30～16:00	②各公民館（出発）→ヤクルト本社茨城工場→道の駅ごか→春日部市美術展覧会→各公民館（解散）	見学	2	13	15	生涯学習市民推進員
２回	8時間30分			8	25	33	

企画運営上の工夫	①神社、仏閣だけでなく、市内の企業を見学して参加者の見聞を広げた。 ②日常生活でなじみのある商品を生産する企業の工場を見学して参加者の見聞を広げた。あわせて、市展を見学して芸術に触れる機会を設けた。
成果 参加者の声など	①身近な場所にある史跡の由来を知ることで春日部市の歴史について興味がわいてきたと好評だった。 ②春日部市の市展で様々な美術作品を鑑賞して、豊かな気持ちになったと好評だった。
課題と展望	本年度、生涯学習推進員が大幅に変更となった。 新たに推進員となった方とともに、魅力的な企画を検討する。

武里地区 13

事業名 テーマ	武里市民センターまつり	対象	一般	定員	各企画ごとに設定
ねらい	公民館利用者の学習成果の発表及び公民館自主企画等の実施を通じて、利用者相互の交流と地域住民の公民館活動への理解を深めると共に利用者の拡大を図る機会とする。				
協力機関及び団体	・武里市民センターまつり実行委員会 ・運営協力員 ・武里公隣防災対策連絡協議会	特色 位置づけ	重点事業	SDGsの目標No	11
会場	武里地区公民館(全館)・寿楽荘	教材 資料等	プログラムにより異なる		
実施までの経過	6月3日～7月20日　参加申込受付 7月26日　第1回実行委員会 9月26日　第2回実行委員会 11月7日　事前会場準備 展示作品(搬入・展示) 11月8日～9日　開催日	PR方法	公民館だより6月～10月号(周知・参加募集)・市公式SNS・ポスター		
		受付方法	(展示・ステージ・体験・公民館企画) 公民館窓口にて参加申込書を配布		

月日(曜) 回数	時間 総時間数	内容	方法	参加者 男計	参加者 女計	参加者 合計	講師・助言者の職名氏名
11月8日(土) 11月9日(日)	10:00～16:00 10:00～15:00	展示・ステージ・体験(販売)・企画	鑑賞 体験 実技	95 123	236 138	331 261	武里公隣防災対策連絡協議会 春日部農産物直売協議会 フードセレクション認定事業者 (ヒロファーム・レガール) 平尾典子(レインボーキャンディ) 関根恵子(バルーンアート)
	【展示の部】	公民館利用サークル(12団体) 個人作品展示(5人)					
	【ステージの部	ステージ発表 公民館利用サークル(6団体)					
	【体験・販売の部】	公民館利用サークル(6団体)					
	【その他】	麻雀デモンストレーション(1団体) 防災展示・農産物販売(1店舗) こども向け企画(バルーンアート、レインボーキャンディ) フードセレクション認定事業者の出店(2店舗) たけさと歌自慢(1階寿楽荘)					
2回	11時間		延べ	218	374	592	

企画運営上の工夫	実行委員形式の運営方法をとり、参加団体の自らの手で作り上げる事業とした。 こどもから大人まで幅広い年代層の人たちが楽しめるように、ステージ発表、作品展示に加え、こども向け企画や農産物の販売、春日部フードセレクションの認定事業者による出店等も企画した。
成果 参加者の声など	ステージの部、展示の部、体験の部に多くの団体が参加し、日ごろの活動成果を発表することができた。来館者のアンケートには「楽しかった」「ステージがすばらしかった」「素敵な作品が見れてよかった」「カラオケがよかった」「催し物が少ない」「農産物が少なかった」「もっと参加型の催しがあってもよい」など、様々な意見があった。 「毎年、楽しみにしている」と言ってくださる方もいるため、今後はさらに地域住民の方が楽しめるものにしていきたいと思う。
課題と展望	センターまつりの運営の仕方や実行委員会の在り方について再考する必要がある。 参加団体・個人・協力員をはじめ、地域の方々とともに、日ごろの活動成果を存分に発表し、盛り上げることができる企画内容・運営方法を協力しながら考えていきたい。

事業名 テーマ	令和7年度春日部市民体育祭 第65回武里地区体育祭	対象	一般	定員	種目ごと
ねらい	地区住民を対象として主体的に開催し、だれでも気軽に参加でき、地区をあげてのスポーツ・レクリエーションの祭典で、地区住民の健康と体力の向上及び相互の交流と親睦を深めて、健全な地域の発展を図る。				
協力機関及び団体	主催：春日部市 武里地区自治会連合会 武里地区公民館 武里東公民館 主管：武里地区体育祭実行委員会 協力：第4地域包括支援センター 備後小学校・大沼中学校・ 武里中学校・春日部南中学校	特色 位置づけ	重点事業	SDGsの目標No	3・11
会場	備後小学校校庭	教材 資料等	プログラム（地区内全戸配布） 各競技参加者に賞品		
実施までの経過	5月18日　市実行委員会 6月8日　プログラム検討会議 6月15日　企画運営会議 7月21日　地区代表者会議 9月14日　実行委員会 10月11日　前日準備 10月12日　地区体育祭	PR方法	公民館だより7～10月号 各自治会及び管内学校にポスター掲示（9月） プログラム全戸配布（10月）		
		受付方法	地区対抗、事前・当日受付種目を除き地区住民が自由に参加する。		

月日（曜） 回数	時間 総時間数	内容	方法	参加者 男計	参加者 女計	参加者 合計	講師・助言者の職名 氏名
10月12日（日）	9:00～15:00	10チーム対抗 地区対抗種目　4種目 自由参加種目　10種目 事前・当日受付種目　2種目	競技	1400	1300	2700	
1回	6時間			1400	1300	2700	

企画運営上の工夫	・例年会場としていた武里小学校が工事のため、急遽会場を備後小学校に変更した。会場の下見を何度かおこない、グラウンドのレイアウトに苦慮したが概ね好評だった。 ・参加者の増加を図るため抽選会を実施した。賞品に地元の商品や協賛金出資企業の物品を採用した。
成果 参加者の声など	・天候に恵まれ、また大きなけが等もなく、体育祭を終えることができた。会場の変更により以前より広くきれいで使いやすかったという声が多かった。
課題と展望	・抽選会を続けて欲しいとの声があった。地元企業等を知ってもらう機会ともなるので賞品を増やして開催したい。ただ、抽選券が全員に渡っておらず、配布方法について検討が必要である。

武里地区 15

事業名 テーマ	人権教育研修会	対象	公民館利用者 及び利用予定者	定員	武里200名 武里東150名
ねらい	人権についての学習機会をつくり、人権意識の高揚を図る。				
協力機関 及び団体		特色 位置づけ	公民館利用者会議とあわせて実施	SDGsの目標No	4・10・11
会場	①武里地区公民館講堂 ②武里東公民館大会議室	教材 資料等	DVD映画 「性の多様性とLGBTQ＋～誰もが自分らしく生きるために～」		
実施までの経過	12月2日（火）開催通知配布 1月1日（木）　公民館だより1月号 1月11日（日）申し込み締め切り	PR方法	開催通知（窓口配布） 公民館だより1月号 ポスター		
		受付方法	1月11日（日）までに参加希望会場に直接または電話で		

月日（曜） 回数	時間 総時間数	内容	方法	参加者 男 計	参加者 女 計	参加者 合計	講師・助言者の職名 氏名
		DVD上映					
1月24日（土）	10:40～11:05	武里地区公民館	鑑賞	12	14	26	
1月24日（土）	14:45～15:10	武里東公民館	鑑賞	4	8	12	
2回	50分			16	22	38	

企画運営上の工夫	近年ようやく認知されてきたLGBTQ+について、無理解により起きる差別や偏見などの問題をDVD上映を通じて、啓発の機会となるようにした。 当事者による経験や現状などの説明によるわかりやすいDVDを選定した。
成果 参加者の声など	「正しい知識として持ちたい」、「いろいろな機会を通じその人　その人の個性が生かせるような世の中になってほしい。」、「このようなことは中学生くらいより学ぶことが必要」などの意見があり、理解を深める機会となった。
課題と展望	人権についての意識や知識を深める場となるよう引続き啓発に努めていく。

事業名 テーマ	サークルサポート	対象	一般	定員	特定せず
ねらい	地域住民のサークル活動への自主参加の機会を作る。サークルが継続して活動できるよう支援する。				
協力機関及び団体		特色 位置づけ		SDGsの目標No	11
会場		教材 資料等			
実施までの経過		ＰＲ方法	公民館だより		
		受付方法	随時受付		

月日（曜） 回数	時間 総時間数	内容	方法	参加者 男 計	参加者 女 計	参加者 合計	講師・助言者の職名 氏名
4月1日（火）～ 3月31日（火）		公民館だよりに随時掲載					

企画運営上の工夫	特定の期間での実施ではなく、随時対応とし、主に既存サークルの会員募集を行った。サークルから依頼のあった会員募集ポスターの掲示や公民館だよりにも掲載している。
成果 参加者の声など	令和7年度は9団体から会員募集の申込みや発表会などの掲載依頼があり、公民館だより等で周知したことで会員の増員につながり、活動の幅が広がった。
課題と展望	サークル活動を継続していくうえで主たる課題の多くは、会員の高齢化による減少である。今後も、公民館活動への参加のきっかけとなる機会や情報を提供し、支援していく必要がある。

武里地区 17

事業名 テーマ	公民館利用者会議	対象	公民館利用者 及び利用予定者	定員	武里200名 武里東150名
ねらい	公民館利用者相互、利用者と公民館との交流・連絡調整を行い、公民館の円滑な利用を図る。武里地区公民館と武里東公民館のそれぞれで実施する。				
協力機関 及び団体		特色 位置づけ	人権教育研修会とあわせて実施	SDGsの目標No	4・11
会場	①武里地区公民館　講堂 ②武里東公民館　大会議室	教材 資料等	会議資料 公民館へのご意見・ご要望		
実施までの経過	12月2日(火)　開催通知配布 1月1日(木)　公民館だより1月号 1月11日(日)　申し込み締め切り	PR方法	開催通知(窓口配布) ポスター 公民館だより1月号		
		受付方法	1月11日(日)までに参加希望会場に直接または電話で		

月日(曜)	時間	内容	方法	参加者 男	参加者 女	参加者 合計	講師・助言者の職名 氏名
回数	総時間数			計	計		
1月24日(土)	10:00～11:15	武里地区公民館	講義	12	14	26	
1月24日(土)	14:00～15:15	武里東公民館	講義	4	8	12	
2回	2時間30分			16	22	38	

企画運営上の工夫	・開催案内について公民館利用者(団体)に幅広く行き渡るよう掲示や窓口での周知を実施した。 ・同時に人権教育研修会を開催し啓発に努めた。 ・利用(使用)の説明については、主に利用者や近隣住民から寄せられた意見なども強調し伝えた。
成果 参加者の声など	・公民館の利用に関して、使用申請や活動中の安全確保など改めて公民館の使い方について確認を行った。 ・地区センター機能の一つでもある、こどもの遊び場や学習スペースの取り扱いについて、意見交換ができた。
課題と展望	・公民館利用者(団体)に利用規則や利用方法を幅広く理解してもらえる機会となるので多くの方が参加できるよう工夫していく。 ・新しい開催方法として新規利用者(団体)に絞って開催することも検討していきたい。

事業名 テーマ	グラウンド利用団体代表者調整会議	対象	グラウンド利用者及び利用予定者	定員	特定せず
ねらい	公民館グラウンドの円滑な利用を図る。				
協力機関及び団体		特色位置づけ		SDGsの目標No	11
会場	武里地区公民館　研修室1	教材資料等	会議資料		
実施までの経過	関係者に、年間予定と会議の都度次回開催日を連絡する。	ＰＲ方法	公民館だより		
		受付方法	当日受付		

月日（曜） 回数	時間 総時間数	内容	方法	参加者 男 計	参加者 女 計	参加者 合計	講師・助言者の職名 氏名
4月20日(日)	10:00～11:00	翌月・翌々月分の利用枠調整	協議	19	2	21	
6月15日(日)	10:00～11:00		協議	13	3	16	
8月17日(日)	10:00～11:00		協議	14	2	16	
10月19日(日)	10:00～11:00		協議	18	2	20	
12月14日(日)	10:00～11:00		協議	14	1	15	
2月15日(日)	10:00～11:00		協議	16	2	18	
6回	6時間			94	12	106	

企画運営上の工夫	・グラウンド利用の枠を協議する場としてだけでなく、熱中症・運動時の怪我防止等を呼びかける場とした。また、「自分たちのグラウンド」という意識を持ってもらえるよう、利用団体による除草作業も行った。
成果 参加者の声など	・グラウンドの利用がスムーズに進むとともに、グラウンドの整備活動に積極的に協力する団体が増えつつある。
課題と展望	・利用者団体の意見や要望を聞くとともに、グラウンドの円滑な利用を図るため、今後も会議を実施する必要がある。また、定期的な除草作業を行ってはいるものの、十分な整備には程遠い状況があり、作業時間並びに回数の増加、内容の改善などの課題がある。

武里地区　19

事業名 テーマ	公民館だより「武里」の発行	対象	地区内全世帯	定員	発行部数 15,000部
ねらい	公民館事業の案内や報告、地区内社会教育団体の行事や会員募集記事などを掲載し、学習情報を提供する。				
協力機関及び団体		特色位置づけ		SDGsの目標No	4・11
会場		教材資料等			
実施までの経過	毎月15日頃　記事編集 22日頃　印刷 月末　配布	ＰＲ方法			
		受付方法	掲載依頼記事は、前月10日までに公民館に申込み		

月日（曜） 回数	時間 総時間数	内容	方法	参加者 男計	参加者 女計	参加者 合計	講師・助言者の職名 氏名
		公民館だよりの発行 A4両面刷（A3の場合あり）					
１２回							

企画運営上の工夫	公民館事業等の情報を、分かりやすく伝えると共に、魅力ある紙面づくりに努め、公民館活動への参加や理解・関心を深めてもらえるように心がけた。記載記事をより見やすいレイアウトやわかりやすい文章に心がけ、イメージが膨らむ写真やイラストを入れて編集した。
成果 参加者の声など	主催事業の参加者にアンケートによると、公民館だよりから情報を得たということが大半を占めており、地域住民にとって公民館事業を知る重要な手段となっている。 また、サークルからのお知らせ情報を掲載することで利用団体の活動を支援することができた。
課題と展望	今後も一層、必要な情報を正確に伝えるためにレイアウト等を工夫し、見やすく、分かりやすい魅力ある紙面づくりに努め、多くの方へわかりやすい情報発信をしていく。また、ブログやホームページでの情報発信も行い幅広い層へのアピールも行っていく。

武里地区　20　【防災・防犯の拠点に関する事業（地区センター事業）】

事業名 テーマ	スマホ教室＆詐欺被害にあわないための講座＆交通安全講習	対象	６５歳以上	定員	各回10名
ねらい	６５歳以上の方を対象にスマートフォンの簡単な操作方法を教えることで、ＤＸの推進を図る。また、詐欺等の犯罪被害にあわないための講座も行うことで防犯機能の向上も図る。				
協力機関及び団体	行政デジタル改革課 くらしの安全課	特色位置づけ	地区センター事業	SDGsの目標No	4・11
会場	武里地区公民館　2階会議室1	教材資料等	なし		
実施までの経過	実施前月の公民館だよりに掲載	ＰＲ方法	公民館だより		
		受付方法	武里地区公民館に直接または電話で		

月日（曜） 回数	時間 総時間数	内容	方法	参加者 男 計	参加者 女 計	参加者 合計	講師・助言者の職名 氏名
11月19日(水)	13:30～15:00	スマホ講座および防犯・交通安全講習	実習	3	7	10	
11月19日(水)	15:30～17:00		実習	1	7	8	
2回	3時間			4	14	18	

企画運営上の工夫	・スマホの操作教室にあわせて、詐欺等の犯罪被害にあわないための講座を行うことで、参加者のスマホ操作技術と防犯意識の向上を狙った。
成果 参加者の声など	・参加者からは、「この様な教室をもっと回数を多く開いてほしい」や「スマホを買い替えたばかりで苦労していたが、フレンドリーな対応で教えていただきとても良かった。」、「詐欺の電話がかかってきたばかりなので参考になった。」等の声が寄せられた。
課題と展望	・スマホの操作教室について、職員が講師となって実施することから、1回の定員を多く設定できない。

武里地区　21　【防災・防犯の拠点に関する事業（地区センター事業）】

事業名 テーマ	避難所開設訓練	対象	一般	定員	80名
ねらい	令和６年度から公民館に地区センター機能が追加されたことを契機とし、地域での災害発生時の体制強化に向けて、自治会等と連携した、避難所開設訓練を実施する。				
協力機関及び団体	市危機管理防災課	特色 位置づけ	地区センター事業	SDGsの目標No	4・11
会場	武里地区公民館　2階講堂	教材 資料等	危機管理防災課作成資料		
実施までの経過	10月1日危機管理防災課宛職員派遣依頼送付 11月16日武里地区40自治会長宛に開催通知送付	ＰＲ方法	公民館ブログ ポスター、チラシ 各自治会あて通知		
		受付方法	武里地区公民館に直接または メールで		

月日（曜） 回数	時間 総時間数	内容	方法	参加者 男 計	参加者 女 計	参加者 合計	講師・助言者の職名 氏名
1月17日(土)	13:30～15:00	避難所開設訓練、災害用備蓄品や防災倉庫に関する講座	実習	32	11	43	危機管理防災課
1回	1時間30分			32	11	43	

企画運営上の工夫	・11月に武里地区40自治会長宛に開催通知を送付、1月4日に開催された自治会連合会新春の集いにおいても再度チラシを配付し参加を呼びかけた。 ・避難所開設訓練および災害用備蓄品、防災倉庫に関する講座を危機管理防災課に依頼した。参加者を4つの班に分け、実際に段ボールベッドや簡易間仕切りの設営を行った。
成果 参加者の声など	・参加者からは、「何度も経験することが大切」「参考になった」等の声が聞かれた。主に自治会関係者の参加を見込んだが、一般参加の方も多く、防災意識の高い地区であると感じた。
課題と展望	・今回は自治会関係者を対象に開催したが、今後は若い世代やこども対象に同じような訓練を開催できるとよい。

武里地区　22【こどもの居場所づくりに関する事業（地区センター事業）】

事業名 テーマ	こどもの遊び場企画	対象	未就学児～小学生	定員	各20名
ねらい	手作り遊びを通して、こどもの遊び場を知ってもらう機会とする。				
協力機関及び団体		特色位置づけ	地区センター事業	SDGsの目標No	4
会場	武里市民センター　会議室ほか	教材資料等			
実施までの経過	実施前月の公民館だよりに掲載	ＰＲ方法	公民館だより 安心安全メール		
		受付方法	申込不要		

月日（曜） 回数	時間 総時間数	内容	方法	参加者 男計	参加者 女計	参加者 合計	講師・助言者の職名 氏名
4月26日(土)	10:00～11:00	金太郎を作ろう/金太郎さがし	実習	1	8	9	
6月21日(土)	10:00～11:00	七夕飾り＆短冊に願いを		3	6	9	
8月20日(水)	10:00～11:30	スノードームをつくろう		7	17	24	
10月25日(土)	10:00～11:30	ハッピーハロウィン！ プラバンでキーホルダー作り		1	6	7	
12月6日(土)	10:00～11:30	たのしい木の実のリメイク		6	5	11	
2月28日(土)	10:00～11:30	張り子のだるまをつくってみよう		8	9	17	
6回	8時間			26	51	77	

企画運営上の工夫	こどもが楽しく遊びながらできる簡単な工作をネットや本から探した。男の子でも女の子でも関係なく遊べるものを選んだ。講師を呼ばず、職員がサポートする方式をとることで、アットホームな雰囲気づくりに努めた。
成果 参加者の声など	参加したこどもたちからは「楽しかった」「もう一個作りたい」などの声があった。出来た作品や写真を2階ロビーで紹介すると「参加してみたい」との声もあった。
課題と展望	回を重ねるごとに参加者も増え、毎回来てくれる子もおり、定着してきたため、継続実施を検討するが、工作材料の入手先が限られており、不要品や公民館にある材料で出来る企画を考えるのにも限界があり、運営方法を見直す必要がある。